

モアヘッド州立大学ネトルトン先生による講義 感想

共同教育学部 英語専攻 1年 長瀬由季

第一回の講義では、モアヘッド州立大学の特色や留学制度についてお話を伺いました（図1）。モアヘッド州立大学では、教育や宇宙科学など様々なジャンルを自由に学ぶことができると聞き、自分の興味関心の幅を広げながら、豊かな将来像を描けそうだと思います。また、充実した教育実習プログラムにより、様々な人と交流しながら教師になるための準備を進められそうだと思います（図2）。小さな町にある大学だからこそ、ホストファミリーや同じ大学に通う学生、地域の人々と密接に関わりながら、留学生活を送れる点が魅力的だと感じました。講義の最後に先生が仰っていた“Don't wait!”という言葉は、受け身になりがちな自分に必要なものだったと思ったので、アクティブな姿勢を大切にしていきたいです。

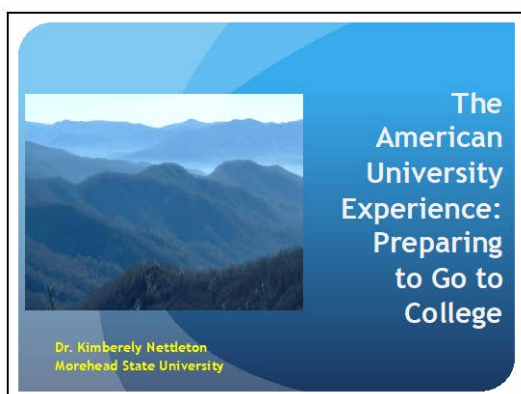


図1 提示資料 p. 2



図2 提示資料 p. 7

第二回の講義では、教師としてあるべき姿やクラス運営の方法など、多くのことを学びました。特に、humor, integrity, flexibilityの3つの能力を高めることや（図3）、クラスの中でルールと手順を定めることを意識したいと思いました。また、良いことをしたらコットンボールを獲得でき、容器いっぱいを集めたらご褒美が貰えるという制度が紹介されていました。これによって、自然と誰かのために良いことをする習慣が身につくそうだと思います。周囲の人に褒めてもらったり認めてもらったりすることで、子供達は自己有用感が向上するのではないかと考えました。今回学んだことを心に留め、将来は子供達のモデルになれるような教師を目指したいです。

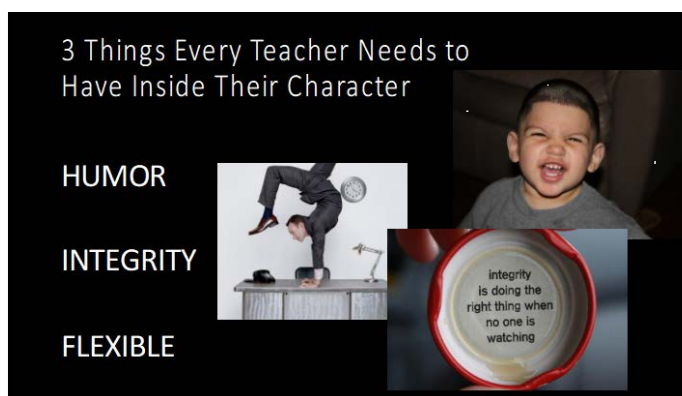


図3 提示資料 p. 2